

製品安全データシート

該当成分 ポリエチレングリコール

1. 製品等及び会社情報

製品名称	Signal Booster, Signal Booster Neo, Signal Booster Immunostain 及び、 下記ELISAキットの反応バッファー及び抗体希釈バッファーの構成成分として利用 HB Pre-S1 antigen Quantitative ELISA kit, Rapid (BCL-S1HP-01) HB Pre-S2 antigen Quantitative ELISA kit, Rapid (BCL-S2HP-01) Easy ELISA constructor (BCL-EEC-01) Leishmaniasis urinary antibody detection ELISA kit (BCL LEI-01) Filariasis urinary antibody detection ELISA kit(BCL FIL-01)
製品コード	BCL-101S,BCL-105,BCL-110,BCL-125,BCL-110A,BCL-125A,BCL-110B,BCL-125B, BCL-SBN-01,BCL-SBN-02 BCL-IS,BCL-ISF,BCL-ISM, BCL-ISS, BCL-DB, BCL-DBR1, BCL-EPB-01, BCL-RB
該当成分	ポリエチレングリコール
製品中の当該成分含量	6%以下
推奨用途及び使用上の制限	ウェスタンブロッティング、ELISA、免疫染色用の試薬として利用(研究用)
会社名	株式会社ビークル
住所	京都市山科区上花山坂尻25-10
電話番号	075-582-8505
緊急時の電話番号	075-582-8505
FAX番号	075-582-6055
メールアドレス	technical-support@beacle.com

(下記のデータは特に断らない限り、該当成分が100%とした場合のデータを示しております)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類できない

物理化学的危険性

- 火薬類 -
- 可燃性・引火性ガス -
- 可燃性・引火性エアゾール -
- 支燃性・酸化性ガス類 -
- 高压ガス -
- 引火性液体 -
- 可燃性固体 -
- 自己反応性化学品 -
- 自然発火性液体 -
- 自然発火性固体 -
- 自己発熱性化学品 -
- 水反応可燃性化学品 -
- 酸化性液体 -
- 酸化性固体 -
- 有機過酸化物 -
- 金属腐食性物質 -

健康に対する有害性

- 急性毒性(経口) -
- 急性毒性(経皮) -
- 急性毒性(吸入:ガス) -
- 急性毒性(吸入:蒸気) -
- 急性毒性(吸入:粉じん/ミスト) -
- 皮膚腐食性・刺激性 -
- 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 -
- 呼吸器感受性 -
- 皮膚感受性 -
- 生殖細胞変異原性 -
- 発がん性 -
- 生殖毒性 -
- 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) -
- 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) -
- 吸引性呼吸器有害性 -

環境に対する有害性

- 水生環境急性有害性 -
- 水生環境慢性有害性 -

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険有害性情報 (皮膚、眼に対する刺激性はほとんどない。経口毒性は低いが大량に摂取すると、有害である。不快感、腹痛、下痢、吐き気等の症状がでる恐れがある)

(分解性が良好と判断される化学物質)
(通常の取扱いでは危険性は低い)

注意書き

3. 組成及び成分情報

製品への添加量 製品に含まれる含有量は6%以下
化学名又は一般名 ポリエチレングリコール
別名 Polyethylene glycol
分子式(分子量) H(OCH₂CH₂)_nOH
化学特性(示性式又は構造式) -
CAS番号: 25322 - 68 - 3
官報公示整理番号
化審法: 7-129
安衛法
濃度又は濃度範囲 100%

4. 応急措置

吸入した場合 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。体を毛布などでおおひ、保温して安静を保つ。
皮膚に付着した場合: 多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合: 直ちに清浄な水で15分以上洗眼したのち、医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合: 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤 水、炭酸ガス消火器
特有の危険有害性 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
除去方法 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は十分に拭き取った後、大量の水で洗い流す。
二次災害の防止策 関係者以外は近づけない。
付近の着火源となるものを取除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 酸化剤との接触を避ける。
容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない、漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙してはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
注意事項 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
安全取扱い注意事項 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
保管 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
保管条件 酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
容器包装材料 ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定
許容濃度 未設定
未設定
設備対策 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
保護具
呼吸器の保護具 防塵マスク
手の保護具 保護手袋
眼の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
形状 フレーク
色 白色またはほとんど白色
臭い 無臭
pH 4.5 ~ 7.5(50g/l, 25)
融点・凝固点 50 ~ 65
沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし
引火点 データなし

自然発火温度	データなし
爆発特性	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(密度)	1.13
溶解度	溶媒に対する溶解性：熱水及び熱エタノールに極めて溶けやすく、ジエチルエーテル及びヘキサンにほとんど溶けない。
オクタノール・水分配係数	データなし
10. 安定性及び反応性	
安定性	データなし
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	日光、熱
危険有害な分解生成物	一酸化炭素
11. 有害性情報	
急性毒性	静脈内投与 ラット LDLo: 22mg/kg (RTECS) ネコ LDLo: 1000mg/kg (RTECS)
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激 ウサギ 500mg/24H 軽度 (RTECS)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	目刺激 ウサギ 500mg/24H 軽度 (RTECS)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
12. 環境影響情報	
移動性	データ不足のため分類できない。
残留性/分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
生態毒性	データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	焼却法 可燃性溶剤に溶解し、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装	上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	非該当
国連分類	非該当
海洋汚染物質	非該当
注意事項	輸送前に容器の破損、腐し、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
15. 適用法令	
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質管理促進法(P.R.T.R法)	非該当
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法(危規則)：	非該当
航空法	非該当
16. その他の情報	
参考文献	化学大辞典 共立出版(1993) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2003) 14303の化学商品 化学工業日報社(2003)

本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを想定して記載されています。表示した内容は新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。